

パッションフルーツの食べ方についてわかりやすい商品コメントと写真にしました。

多治見支所の
組合員さんのご意見から

2010年27号商品案内のNO.109「パッションフルーツ」を試してみたいと思ったのですが、説明文「半分に輪切りにして、種ごとかまわずにお召上がりください。」の意味がわからず、注文できませんでした。もう少し分かりやすく教えて下さい

【2011年28号の商品案内】



【2010年27号の商品案内】



「半分に輪切りにして、種ごとお召上がりください」とコメントを変更し、イメージ写真も利用される方によりわかりやすく表現しました。

組合員さんの声で、商品案内は改善されています。ぜひ皆さんのお声をお寄せください。

コープベル ☎ 0120-706-887

Report 商品安全検査センター

放射性物質検査機器を新たに導入しました！

8月下旬に東海コープの検査センターにも放射性物質測定装置を導入しました。この装置はゲルマニウム半導体検出器を積んだ分析機器で、原発事故後全国的に需要が一気に高まりました。

この測定機器は現存する放射能測定機器の中では最も高い精度と分解能を持つ機器であり、放射性セシウムや放射性ヨウ素等をそれぞれの値として正確に測定することができます。公的な検査はこの機器で測定されています。

一般的に普及している測定機器は、簡易型のものがほとんどで、放射線の総量は察しがついても、それが環境にあるのか食品にあるのか区別できません。また核種（たとえばセシウムに由来するのかヨウ素に由来するのか？）毎の量を正確に量る事は



放射線分析機器

【東海コープ商品安全検査センターとは…】

東海3県の3生協で「東海コープ」を作り、商品を共同仕入しています。東海コープは、メーカーさんや農家さんと、書類で約束を交わします。その約束が守られているか点検するのが、商品安全検査センターの役割です。

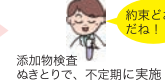
例えば…



約束
このウイナーは、添加物を減らして造らうね



東海コープ商品安全検査センター



約束どおりだね！

添加物検査
めきとりで、不定期に実施

きませんし、自然に存在する放射性カリウムとの区別もできません。したがって、測定はできたとしても、厚生労働省が定める暫定規制値に対して適切な評価を行うことはできません。



お米の検査

わたしたちはこの高精度の装置を使って食品を適切に評価することにより、組合員の皆さんが安心して利用できるとともに、産地を風評被害から守れるような検査をしていきます。



検査風景



検査担当とともに

商品安全検査センターホームページ <http://www.tcoop.or.jp/kensa/index.htm>